

# 東田中学校「学びの教室」のご案内 ★詳しくは担任、コーディネーターにご相談ください

## 特別支援教室

特別支援教室は、知的な遅れはないものの、集団での学習活動で困りごとを抱えている子どもたちのための通級学級です。自閉症、情緒障害、学習障害(LD)、注意欠陥多動性障害(ADHD)があり、在籍学級での学習におおむね参加できる、一部特別な指導を必要とする子どもが対象です。

### 学校生活でこのようなことはありませんか

#### 気持ちの切り替えが難しい

- 場の空気を読み、状況を判断して動くことが苦手である。
- 好きなことに集中しすぎて、それ以外がおろそかになる。
- 急な予定の変更などにパニックを起こすことがある。



#### 運動や体の動きを器用にできない

- 体育が全般的に苦手で、やる気がないように見える。
- ドッジボールや大なわなどの集団遊びの輪の中に入れない。
- 楽器や道具の扱いが上手くできない。
- 手先を使った細かな作業が苦手である。
- ルールが難しい。



#### 不注意で気が散りやすい

- 整理整頓が苦手で、忘れ物が多い。
- 授業やテストなどに集中できず、うっかりミスが多い。
- 音や光、皮膚感覚に過敏に反応して集中できない。



#### コミュニケーションがうまく図れない

- 思ったことをそのまま口にしてしまったり、自分をうまく表現できなかったりして、友だち関係がぎくしゃくする。
- 興味や関心があることを一方的に話すことがある。
- 人の気持ちを察することが苦手で、相手の反応を気にしない。



#### 衝動的に動いてしまう

- 周囲の刺激に反応して、すぐに動いてしまう。
- 順番を待てずに割り込んでしまう。
- 手を出したり、大きな声で騒いだりしてしまう。



#### 勉強に得意不得意があり、力を発揮しにくい

- 授業には参加できても、音読、読解、聞き取り、作文、書字、計算、推論するなど特定の分野が極端に苦手である。
- ノートをとることが難しく、授業に集中できない、課題を提出できないことがある。



## 特別支援教室のしくみ

特別支援教室の目的は、お子さんの学習や生活上の困りごとを改善し、できるだけ多くの時間、在籍学級で他の子どもたちと共に、有意義な学校生活を過ごせるようになることです。

### 区内小中学校全校に設置しています

特別支援教室は、各学校の中に設置しています。拠点校から巡回指導教員が訪問し、決められた時間に特別支援教室での授業を行います。

### 特別支援教室拠点校と巡回校

特別支援教室の実施にあたっては、巡回エリア※1を編成し、巡回指導教員がエリア内の学校を巡回して、指導を行います。

### 特別支援教室のしくみ

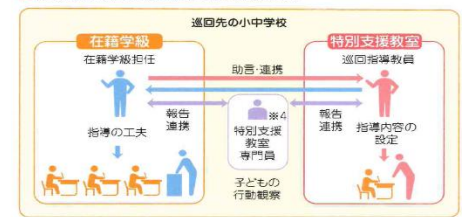


※1 小学校・中学校の巡回エリアについては、裏表紙に記載しています。  
※2 「巡回心理士」は、月1回程度各校を訪問します。

### 巡回指導教員は在籍学級を参観します

巡回指導教員は、在籍学級の担任の先生と連携しながら指導※3を進めます。また、在籍学級での子どもの様子も観察し、担任の先生に助言することもあります。

### 特別支援教室における指導・支援の体制



※3 教科の学習・補習や、在籍学級での学習の遅れを取り戻すための指導を行うものではありません。  
※4 「特別支援教室専門員」(各校に配置)は、特別支援教室の運営に関する連絡調整を行います。

## 指導期間の考え方

### 指導期間は原則1年間です

進級や学校生活のサイクルが年度単位であることから、指導期間を原則1年間としています。これを踏まえ、学校生活を送るうえで为中心的な課題や困りごとの克服に向けて計画的に指導し、1年間のサイクルが終了する時点で必ず振り返りを行います。

※年度途中から利用の場合は、翌年度末までが原則の指導期間となります。

### 指導期間の延長

指導期間の終了後、必要な場合は指導を1年間延長し、延長終了後には改めて支援策を検討し、お子さんの状況に応じた適切な支援を行っています。

## 特別支援教室での指導・支援

### 困りごとに応じた指導をします

特別支援教室での授業は、週1回程度、1日1~2時間を基本とし、一人ひとりのニーズに合わせて、指導内容や方法、時間などを、保護者や在籍校と相談して決定します。個別指導と小集団指導を必要に応じて組み合わせていきます。

### 個別指導

一人ひとりの特性や課題に応じて工夫された教材を使って学習する時間を作ります。「わかった」「勉強はおもしろい」と思える体験を積み重ね、自信と意欲を育てていきます。苦手なことや、得意なことを通して、自己理解を進めます。

### 小集団指導

数人のグループで体を動かしたり、ゲームをしたりする中で、コミュニケーション力やルールを理解する力を育てていきます。

### コミュニケーションの学習

自分も相手も気持ちよく過ごすために、「上手な言葉でのやりとり」や「相手の気持ちを考える」学習をします。

### 運動

「感覚統合」の視点で体を動かす練習などをしていきます。ゲーム的活動を通して、「ルールを守る」「勝ち負けを受け入れる」などの経験も積み重ねていきます。

